

将来交通量予測のあり方に関する検討委員会設立趣旨

近年の経済低迷とこれに起因する財政制約に加え、少子高齢化の進展、地球規模の環境問題など社会を取り巻く環境は大きく変化し、道路事業についても、効果的・効率的な実施と透明性・アカウンタビリティの向上が求められている。

一方、昨年の道路関係四公団民営化推進委員会においては、道路関係四公団民営化後の新会社による道路事業の採算性等を確保するため、その根拠となる交通需要推計に関して議論及び第三者による調査が行われ、いくつかの課題等が指摘されたところである。

道路局においては、交通需要推計が道路計画におけるネットワークや道路構造を決定し、道路が提供するサービスや採算性等を評価するための重要な根拠であることから、これまでも新たな知見を取り入れ、より信頼性の高い推計方法とするため改良を重ねてきたところであり、今後も継続的に改善を図っていくこととしている。

このため、今後の将来交通需要推計の考え方やその課題と対応方針等について具体的に整理・検討を行い、必要な助言を行うことを目的として、本委員会を設置するものである。